

子どもの  
やけどを  
予防する  
ために

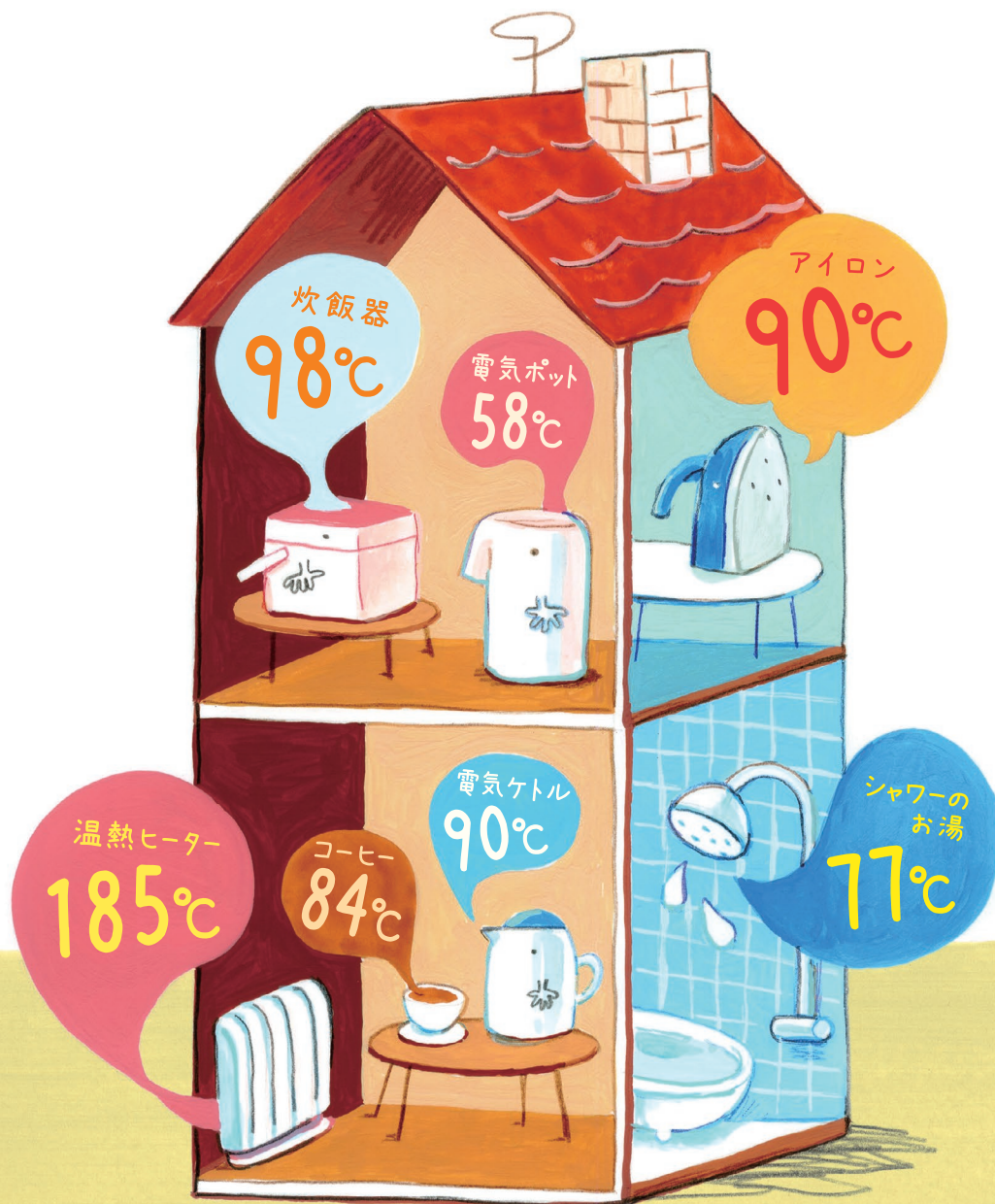
In order to  
prevent scalds  
and burns in children.



SAFE  
K:DS  
WORLDWIDE  
JAPAN

子ども達はどんなものでやけどをしてしまうのでしょうか？

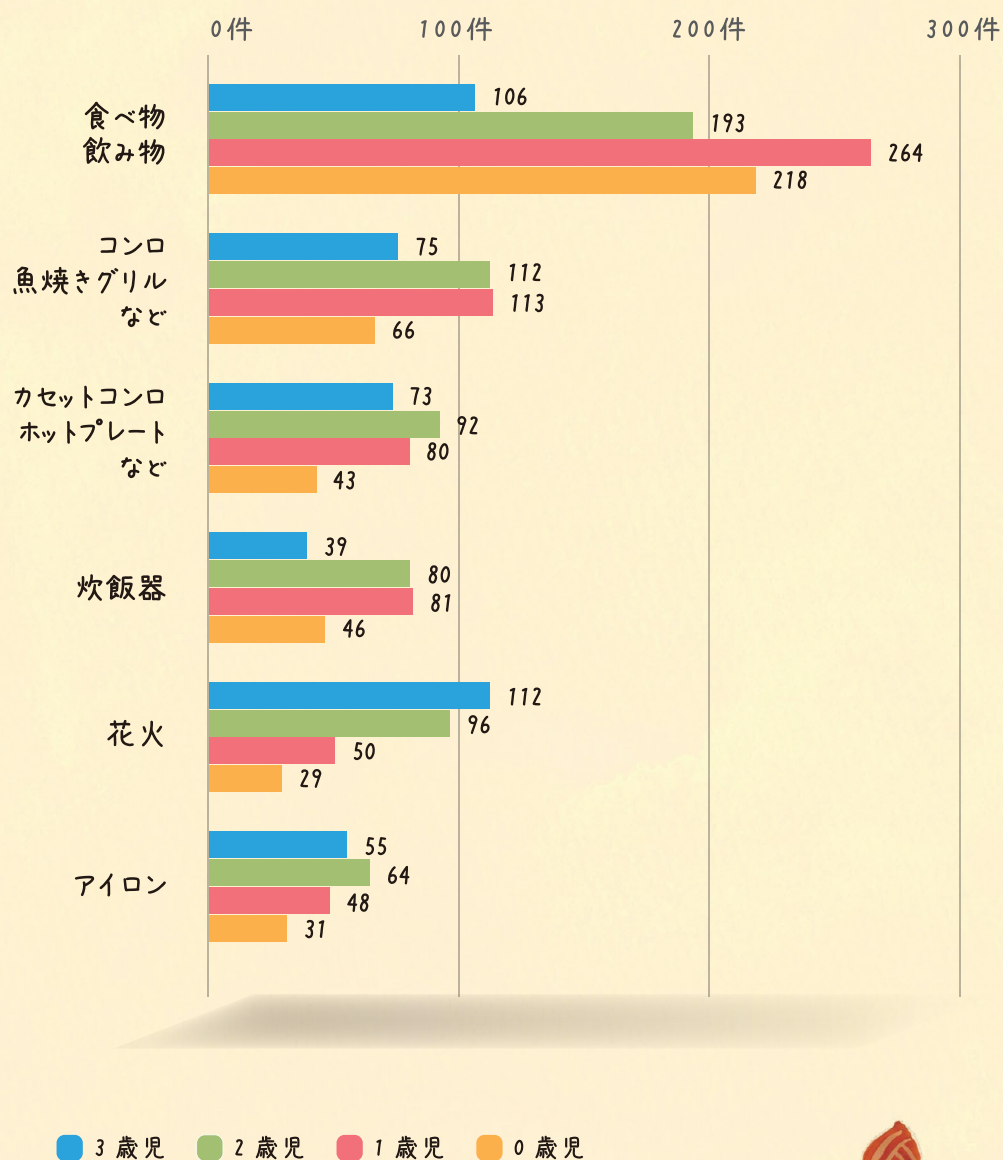
家庭内にある電気製品の最高温度



出典：国民生活センター発行『くらしの危険』№169「子供のやけど」

## 子ども達はこんな製品でやけどをしています

年齢別 危害、ヒヤリ・ハット経験の原因となった主な製品の割合



出典：  
東京都生活文化局消費生活部生活安全課  
平成 25 年度 ヒヤリ・ハット調査「乳幼児のやけどの危険」  
(インターネットアンケート) より



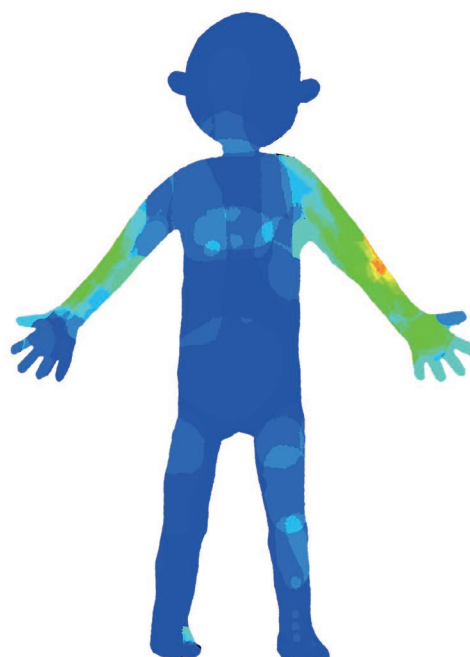
子ども達はからだのどこにやけどをしているのでしょうか？

事故データ（やけど）

（前）



（後）



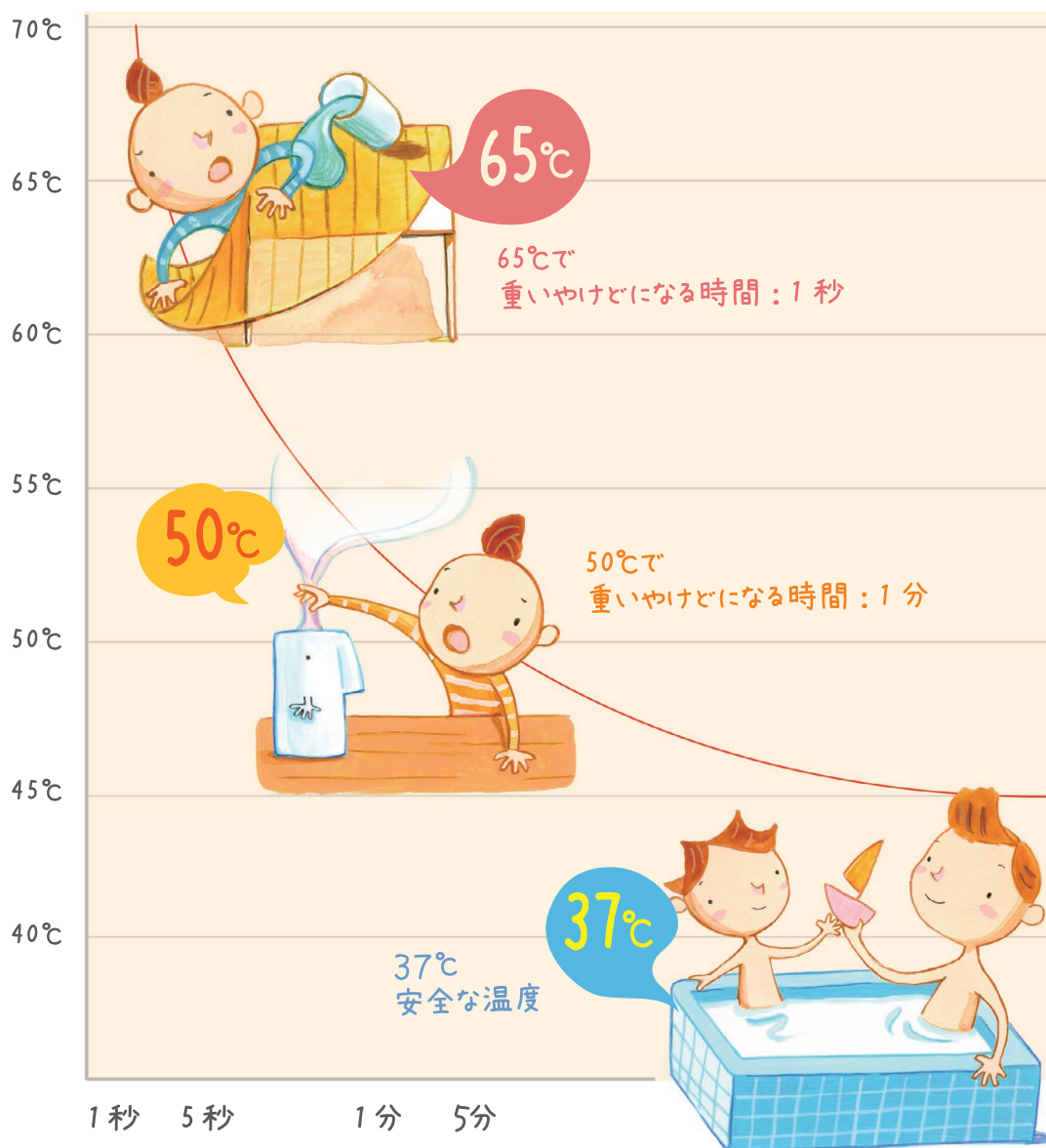
やけどの  
頻度が低い



やけどの  
頻度が高い

<http://www.cipec.jp/project/>

## やけどの重症度と温度の関係を見てみましょう



重いやけどに至る 温度と時間	温度	68℃	64℃	60℃	56℃	52℃	51℃	48℃	37℃
	時間	1秒	2秒	5秒	15秒	1分	3分	5分	安全な温度

出典：American Burn Association SCALD INJURY PREVENTION Educator's Guide  
<http://www.ameriburn.org/Preven/ScaldInjuryEducator'sGuide.pdf>

子どものやけどを予防するためにどうすればよいのでしょうか？

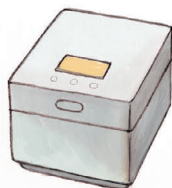
安全対策がされた製品を  
選びましょう。

たとえば・・・

子どもを  
熱源になる  
ものから  
遠ざけます

蒸気が出ない  
炊飯器を  
使用します

チャイルドロック機構付で  
蓋も開きません



蒸気レス沸騰や  
自動ロック機能の  
付いた製品を  
使用します



湯漏れ防止  
機能の付いた  
電気ケトルを  
使用します



熱湯の蒸気か  
出ない加湿器を  
使用します

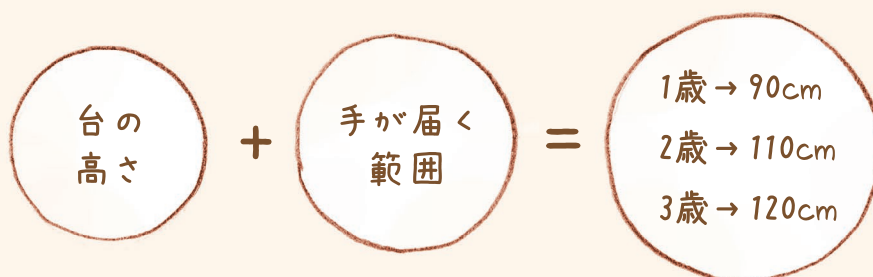


テーブルクロスは  
使用しません

テーブルの下にいる子どもがクロスを引っ張ると、  
テーブルの上にある熱いものがこぼれ、  
子どもが重いやけどする危険があります。

子どものやけどを予防するためにどうすればよいのでしょうか？

手の届く範囲を確認し、やけどの危険のあるものは  
子どもの手の届かない場所に置きましょう。



例：1歳児 → 90 cm

台の高さが 50 cm の場合、台の手前から 40 cm のところまで手が届きます。

Safe Kids Japan では、  
同じ事故が起こらないよう再発防止策を検討しています

お子さんが電気製品でやけどをしたら、  
その経験をぜひ私たちに聞かせてください



Safe Kids Japan 聞かせてください

<http://safekidsjapan.org/contact/>

